

# ワクチン

フォト劇場 (20)

写真が生まれるのがたり

パンデミックであれば痛みを共有しワクチン接種の夜を覚めろつ  
鷺巣錦司

二日程腕が上らなかつた。ホモサピエンスがウイルスに襲われ、慌ててワクチンを接種している。こんな時代に遭遇したことも記録し詠んでおこう。人間もウイルスのようなものと言った人に同感である。

ワクチンを打ちしは三十三番目君を恋ひしは誰よりも先  
島田紘一

コロナ対策はワクチンが決め手と思っていた。アレルギーなどで受けない人もいる。変異株も多い。発熱外来は抜かりがないが、症状のない患者もいるので油断ならない。発病すると家庭は崩壊するのではないか。恐ろしい。



写真・木畑紀子

手花火を持ちたるやうな危ふさなりコロナワクチン接種の左手  
宮内博子

打つべきか、打たざるべきか。看護師は緊張している私を笑ったけど：短期間に大量製造された海外ワクチンに、不安を抱いたのは私だけではないはず。異物の入口となった左手の違和感は暫く消えなかった。

人界のワクチン信仰いぶかしむアマビエの眼に変  
異の光  
佐々木佳子

ワクチン接種が始まったが、思っていたのと違う状況になっている。安心以上に混乱が見えてきて、感染者が減らない不安もある。こんな世を見てアマビエも進化しているに違いない。どうか新しい知恵をお授け下さい。